

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校版)

	実践名(実践年度)	アプリ CLIPSを活用してプレゼンテーション平成30年度
参加する授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 算数/数学 ☐ 理科 ☐ 生活 ☐ 音楽 ☐ 図画工作/美術 ☐ 家庭/技術・家庭 ☐ 体育/保健体育 ☐ 道徳 ☐ 外国語/外国語活動 ☒ 総合的な学習の時間 ☐ 特別活動 ☐ 自立活動 ☐ 各教科等を合わせた指導 ☐ その他の教科 ☐ その他()
	単元・題材名	北部について調べよう！
	授業の目標	①調べたことをまとめることができる。 ②アプリを活用して、イラストと音声を中心に重複学級の同級生に伝えることができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	☐ 「知識・理解」 ☐ 「技能」 ☒ 「思考・判断・表現」 ☐ 「関心・意欲・態度」 ☐ その他()
	自立活動の要素	☐ 健康の保持 ☐ 心理的な安定 ☒ 人間関係の形成 ☒ 環境の把握 ☐ 身体動き ☒ コミュニケーション
学習(集団)の実態	学部・学年・人数	☐ 通常の学級 ☐ 通級による指導 ☐ 特別支援学級 ☒ 特別支援学校 ☐ 就学前 ☒ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 高校生以降 ☐ 特定されない 小学部6年 3名
	対象の障害	☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☐ 知的障害 ☒ 肢体不自由 ☐ 病弱・身体虚弱 ☐ 言語障害 ☐ 自閉症 ☐ 情緒障害 ☐ LD(学習障害) ☐ A/DHD(注意欠陥/多動性障害) ☒ その他(筋緊張の強い児童)
	子どもの課題(特性・ニーズ)	☐ 聞く ☐ 読む ☐ 見る ☐ 話す ☐ 書く ☒ 運動と姿勢 ☐ 計算する ☐ 推論する ☐ 日常生活活動 ☐ 社会性・コミュニケーション ☐ 不注意 ☐ 多動性・衝動性 ☐ 覚える・理解する ☒ 時間的・空間的・人的交流の制約 ☐ その他 「準ずる教育」「下学年代替」の児童にとって時間の制限がある。iPadやiPhoneを活用する機会が多く、新しいアプリでも躊躇することなく活用することができる。車椅子の児童は、長時間の机上学習は身体への負担もあるため、柔軟な学習環境の設定も必要となっている。文章を読み上げたり、感想を発表したりすることについては慣れているが、写真やイラストなどを活用してのプレゼンテーションは初めての取り組みである。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称 (使用した支援機器・教材の名称を記載。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	アプリ Clips
	活用のねらい(概要)	A コミュニケーション支援(☐ A1意思伝達支援 ☐ A2遠隔コミュニケーション支援) B 活動支援(☐ B1情報入手支援 ☐ B2機器操作支援 ☒ B3時間支援) C 学習支援(☒ C1教科学習支援 ☐ C2認知発達支援 ☐ C3社会生活支援) 修学旅行への期待の多い児童へ、北部について調べ学習を行う中で、「準ずる教育」「下学年代替」の児童にとって時間の制限がある。簡単に作成でき、時間を気にせず発表できるように活用しました。また、筋緊張の強い児童にとって、人前で発表する時に、自然と力が入ることが多く本人も苦を感じる様子は、普段から見られていたことも活用の理由の「一つ」である。パワーポイントの作成方法を児童が「理解するまでに、どうしても時間がかかることを解消するために、簡単にプレゼンテーションができる。自分の音声を録音と文字化することができるため、筋緊張の強い児童にも活用しやすい。
	活用方法	操作方法を写真資料(紙媒体)と実際の操作での説明で学習が可能となり、限られた授業時数の中で取り組む。筋緊張の強い児童は、机上だけでなく、横に寝た状態での学習でも取り組むことができた。 iPadを活用することで、児童自身が楽しみながら操作を覚えて、自由な発想で作成をする様子が見られた。 調べ学習後にまとめた内容をプレゼンテーションのツールとして活用。
効果・評価	ICTを活用した授業での子どもの様子や変容および授業の評価	普段かたiPadを活用したり、アプリで遊んだりすることができる児童のため、楽しみながら作成する様子が見られました。また、操作にも早めに慣れて、様々な操作を行うことができていた。自分の音声を録音する際には、アナウンサーのような話を意識してナレーション録りに取り組む様子も見られました。筋緊張の強い児童でも、少ない支援で作成することができ、机上ではなく畳の上に横になっている学習活動も行うことができました。 授業の評価としては、文字の苦手な児童へどのようにプレゼンテーションをしたらよいのか。と児童自身が考え、写真やスタンプを簡単に活用することで、プレゼンテーションができました。授業者としては、プレゼンテーション時間が短い内容編集になっていたのも、もっと深めた内容が次の機会にできるようになってほしいと思いました。
資料	図・写真・表等 (生徒の写真は個人情報公開の確認を取っているものとする。)	   